

目次

ご利用前に

安全上のご注意	2
加熱のしくみ	5
使える容器・使えない容器	6
各部の名称	8
据え付けについて	10

使い方について

ご使用前の準備・0点調整	11
から焼き	12
基本操作	13
加熱時のポイント	14
自動調理	15
手動調理	22

お手入れについて

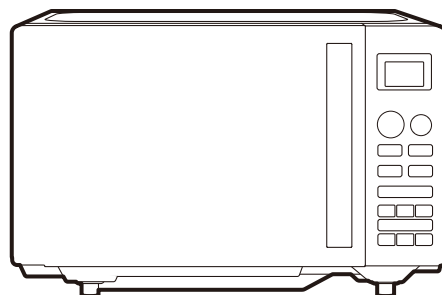
お手入れの方法	29
お手入れ後の安全点検	30

その他

電源周波数と地域について	31
故障かな?と思ったら	32
仕様	33
アフターサービス	34
保証書	35

オーブンレンジ 家庭用

JM016MD01 取扱説明書



この度は、MAXZEN 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を安心してお使いいただくために、ご使用になる前、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は、大切に保管していただき、不明点がある場合にご活用ください。

安全上のご注意

本製品の性能を十分に発揮させ、安全にご利用いただくためにも、「安全上のご注意」をお読みになってから、取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示の説明



警告

「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。



注意

「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明



中の絵と近くの文で、してはいけないこと(禁止)を示します。



中の絵と近くの文で、しなければならないこと(指示)を示します。

※重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
※損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。



警告

据え付け



水場での
使用禁止

- 水のかかりやすい場所や、浴室等湿気が多い場所に置かない。
漏電による火災や感電の原因となります。



指示

- 周囲はすき間をあける。
- 転倒防止の処置をしてください。
地震などの振動により転倒し、けがの原因になります。
- 床が丈夫で水平な場所に据え付けてください。

電源プラグ・コード

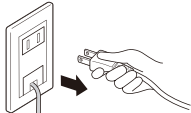
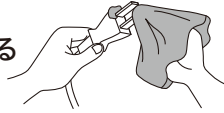


禁止

- 傷んだ電源コード・電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わない。
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。
- 海外や定格周波数以外では使わない。
AC100V電源専用。
- 電源コードを傷つけない。
 - ・破損させない。
 - ・加工しない。
 - ・引っばったり、無理に曲げたりしない。
 - ・ねじったり、束ねたりしない。
 - ・重いものを載せたりしない。
 - ・金属のものに引っ掛けたりしない。
 - ・熱器具に近づけない。
 - ・本体背面で押し付けない。



指示

- 電源は 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。
- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- 電源プラグの刃と刃の取り付け面に付いたホコリは、定期的に乾いた布でよくふき取る。

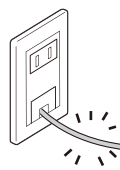
安全上のご注意(つづき)

⚠ 危険

 禁止	● 周波数(50Hzまたは60Hz)の異なる電源で使用しない。 火災や事故の原因となります。海外では使用しないでください。	 禁止	● 吸気口・排気口など製品のすき間に針金やピンなど金属製のものや指、異物などを入れない。 火災、感電、けがの原因となります。
 分解禁止	● 分解・修理・改造をしない。 火災・感電・けがの原因になります。 メーカー指定の修理技術者以外が、取り付けたカバーを取り外すことが必要な、いかなる保守または修理は危険であるため行わない。マイクロ波エネルギーにさらされる恐れがあります。 修理はお買い上げの販売店またはマクスゼンテクニカルサポートセンターにご相談ください。		

⚠ 警告

電源プラグ・コード

 プラグを抜く	● 長期間使用しない場合は電源プラグを抜いておく。 絶縁劣化による、感電・漏電の原因となります。	 アース線 取り付け	● アース線を取り付ける。 アース線の工事については必ず販売店にご依頼ください。(工事費用は本体価格に含まれません)	
---	---	---	---	---

もしもの時は？

 プラグを抜く	● 異常・故障時は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く。 お買い上げの販売店またはマクスゼンテクニカルセンターにご連絡ください。	■ 異常・故障例 ・運転中に異常な音がする、焦げくさい ・電源プラグ、電源コードが異常に熱い ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・運転中 時々電源が切れる ・触れるとビリビリ電気を感じる
---	--	---

ご使用の際

 指示	● 一般家庭用の製品です。通常の使用以外の目的や業務での使用はしない 火災、感電、けがの原因となります。 ● 屋外で使用しない ● 使用する前に梱包材はすべて取り除く 包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない場所で保管するか破棄する 火災、感電、けがの原因となります。	 指示	● 吸気口、排気口をふさいだり、布やカバーをかけたりしない。 故障の原因となります。 ● ビンのフタや栓ははずし、殻や膜のあるものは、割れ目や切れ目を入れる。 容器などが割れ、けが・やけどの恐れがあります。
---	--	---	--

安全上のご注意(つづき)

警告

ご使用の際



禁止

- 調理中は そばを離れない
- 調理中に電源プラグの抜き差しをしない。
火災、感電の原因となります。
- 子供など取り扱いに不慣れな人だけで
使わせたり、幼児に触らせたりしない。
感電、やけど・けがの原因となります。



水ぬれ禁止

- 本体に水をかけたり、水につけたりしない。
漏電やショートして火災、故障、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。
感電・やけど・けがの原因になります。



火気禁止

- 引火物やそれらが付いた物は、入れたり近づけたりしない。
引火、爆発の恐れがあります。

注意

ご使用の際



禁止

- 庫内が空のまま使用しない
庫内やドアが高温になり、やけど、故障の原因となります。
- 熱に弱いものを近づけない
たたみ、じゅうたん、テーブルクロスの上に置かない。
カーテンなど燃えやすいものや、可燃性スプレーなどを近づけないでください。引火や破裂の原因となります。
- 本体の上に物を置かない
加熱、焦げ、変形の恐れがあります。



指示

- 本体が落下、転倒した場合、外部に損傷がなくても使用しない。
感電や電波漏れの恐れがあります。
販売店にご相談ください。
- 袋入りの食品は袋から出す。
内部がアルミ箔のレトルト食品や真空パック済みの食品などは、破裂、発火の恐れがあります。



禁止

- 卵はそのまま加熱しない
破裂し危険です。卵は殻を取り除いて割ほぐすか、黄身に穴をあけてください。ゆで卵は作らない。切ったりほぐしてから温めてください。
- 食品や飲料は加熱しすぎない
飲み物や油分の多い液体は、突然沸騰し、やけどの恐れがあります。
少量の食品は発煙・発火の恐れがあるので気を付ける。
- 金属容器・食器、金串は使用しない
加熱や発火の原因となります。
- 衣類やふきんの乾燥など調理以外に使用しない
異常動作、発火など故障や火災の原因となります。



高温注意

- 食品や食器を取り出すとき、ラップをはずすときなど注意する。
高温になっていたり、蒸気によりやけどの恐れがあります。



禁止

- ドアに無理な力を加えたり、物をはさんだまま使用しない。
電磁波漏れによる人体への被害や発火の恐れがあります。
- ターンテーブルに衝撃を加えたり、熱を持った状態で冷水につけない。
破損によるけがの原因となります。
警告：破裂しやすいため、密閉された容器に、液体又はその他の食品を入れて加熱しない。

加熱のしくみ

本製品は、「レンジ加熱」・「ヒーター加熱 (グリル オープン)」の加熱機能であたため調理を行います。

レンジ加熱のしくみ

■ 電波(高周波)で食品を内と外から同時に加熱します。

電波 (高周波) が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子に摩擦運動が起きます。この摩擦運動による熱で、食品は内と外から加熱されます。

電波の特性

水分のある食品は、電波が吸収されます。



水分が凍っていると、電波が吸収されにくくなります。



耐熱性のあるガラス容器、陶器などは、電波が透過します。



金属製の器などは、電波が反射します。

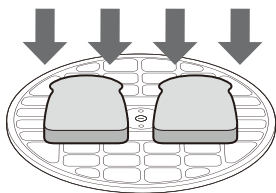


ヒーター加熱のしくみ

■ 庫内の上下ヒーターを使用して加熱します。

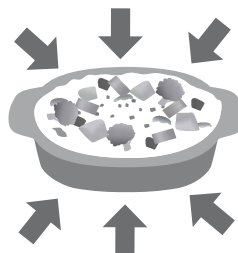
グリル加熱

上ヒーターを使用し、高温で焼き上げます。表面に焼き色をつけたり、火の通りやすい食品を調理するときに使用します。



オーブン加熱

庫内全体を上下のヒーターで一定に保ち、じっくり焼き上げます。中まで熱を通すときに使用します。



レンジ加熱+ヒーター加熱のしくみ

■ 電波 (高周波) とヒーターを使用して加熱します。

加熱メニュー7 で調理するときに、自動で使用します。

→「自動調理 | **7** フライ (20ページ) 参照」

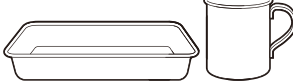
使える容器・使えない容器

！ 指示

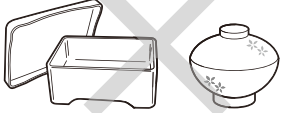
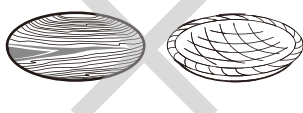
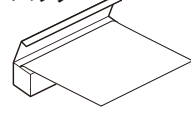
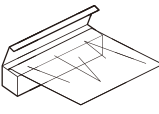
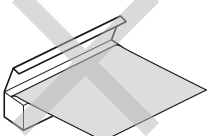
● 調理中は庫内を時々確認する

プラスチックや紙の容器などを使用する場合は、加熱中に溶けたり発火したりしないよう確認を行ってください。発煙、発火の恐れのある食品を加熱する場合は、様子を見ながら加熱してください。

● フタ付きの容器（密閉容器）を使用する際は、フタを外して（ずらして）加熱する 加熱のし過ぎで発煙・発火の恐れがあります。

容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (グリル・オープン)
 ■ 付属のターンテーブル		使えます 	
ガラス	■ 耐熱性がある容器 	使えます  ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。	
	■ 耐熱性がない容器 	使えません  ・カットグラス・強化ガラスも使えません。	
プラスチック	■ 耐熱性がある容器 (耐熱温度:140℃以上) 	使えます  ・「電子レンジ使用可能」の表示のあるものが使えます。 ・金属製のねじを使用しているものは使えません。	使えません  ・ただし、オープン調理で、設定温度が耐久温度以下であれば使えます。
	■ 耐熱性がある容器 (耐熱温度:140℃未満) 	使えません  ・耐熱容器でも、ふたは耐熱性でないことがあるため確認してください。 ・熱で変形するものも使えません。(スチロール・ポリスチレン[PE]など) ・ただし、レンジ加熱の解凍や、オープン加熱の発酵などでは使えます。	
陶磁器	■ 耐熱性がある容器 	使えます  ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。 ・金銀模様・絵柄・ひび模様のある器は、火花が出たり、傷んだりすることがあるので使えません。	使えます  ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。
	■ 耐熱性がない容器 		使えません 
金属	■ アルミ・ほうろうなどの金属容器 	使えません  ・金串、金網、金箔、銀箔のフィルムやテープ・針金の入ったものも使えません。	使えます 

使える容器・使えない容器(つづき)

容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (グリル・オープン)
木・竹・紙	■ 漆器 	使えません  ・塗りがはげたり、ひび割れしたりすることがあります。	
	■ 木・竹・紙 	使えません  ・加熱しすぎると燃えたりすることがあります。 ・釘や針金など金属を使用しているものは使えません。	使えません 
	■ クッキングペーパー クッキングシート クッキングバッグ 	使えます  ・ただし、加熱しすぎると燃えたりすることがあります。	注意が必要  ・発煙・発火することがありますので、注意して使用してください。
その他	■ ラップ (耐熱温度:140℃以上) 	使えます  ・ただし、油分の多い料理は耐熱温度より高温になるため使えません。	使えません  ・ただし、オープン加熱の発酵では使うことがあります。
	■ アルミホイル 	使えません  ・アルミホイルの端が突起として残っているとスパークを起こして危険です。	使えません 

ご利用前に

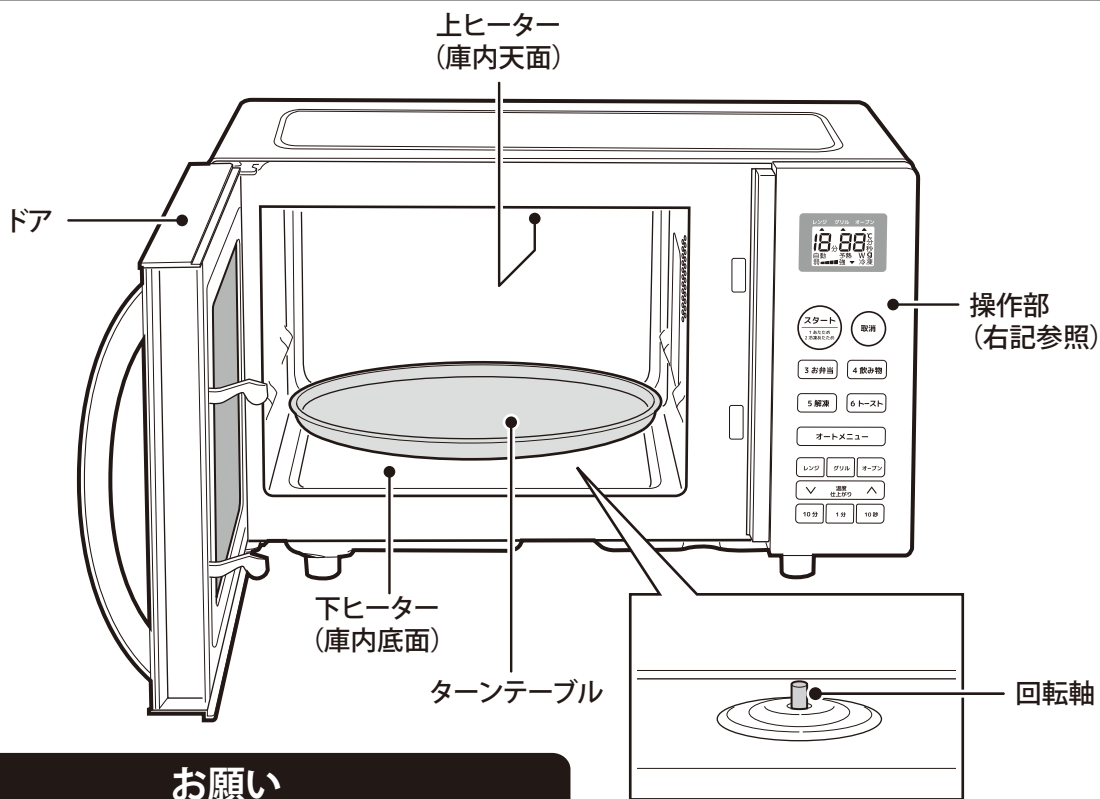
使い方について

お手入れについて

その他

各部の名称

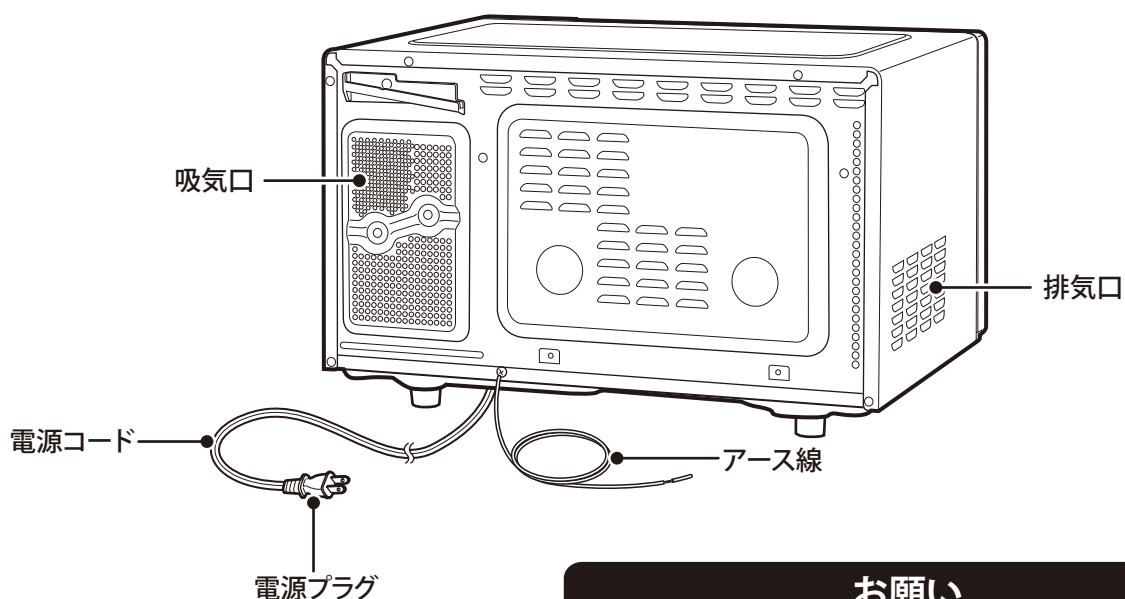
本体



お願い

- ターンテーブルの下にアルミ箔やビニールなどを敷かないでください
正常に機能しなかったり故障の原因となります。

※ 付属のターンテーブルと回転テーブルの
取り付けかたは、11ページをご参照ください。



お願い

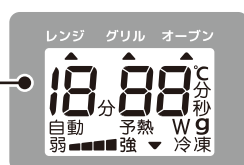
- 無線機器・ラジオ・テレビから 3m以上離してください
雑音や画像の乱れなどの原因となります。

各部の名称(つづき)

操作パネル

表示部

加熱時間や出力を表示します。
※ 説明のため、すべての文字を表示しています。



スタートボタン

メニュー **1・2** ボタン
押すと加熱を開始します。



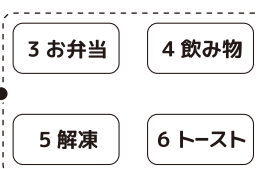
取消ボタン

設定を取り消したり、加熱を途中で停止するときに押します。



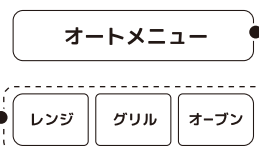
メニュー **3**～**6** ボタン

加熱メニュー「3～6」を、自動調理で加熱するときに押します。



手動メニューボタン

(レンジ / グリル / オープン)
手動調理で加熱するときに押します。
(➡ 22～28ページ)



オートメニュー **7**～**12** ボタン

加熱メニュー「7～12」を選択し、自動調理で加熱するときに押します。
(➡ 15～21ページ)

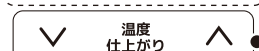
時間設定ボタン

手動調理で時間を設定するときに押します。



温度 / 仕上がりボタン

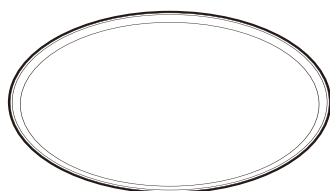
・温度の設定や仕上がりを調節します。
・自動調理を行うときや、手動メニューのオープンで調理するときに使用します。



付属品

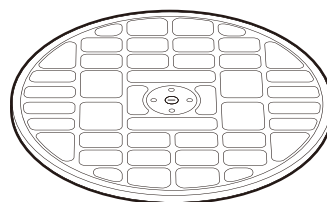
ターンテーブル

回転テーブルの上に置いてご使用ください。
落としたり、ぶつけたりしないでください。



回転テーブル

必ず庫内にセットしてご使用ください。



※ 丸皿と回転テーブルの取り付けかたは、11ページをご参照ください。

破損や紛失したときは、お買い上げの販売店までご相談ください。

据え付けについて

据え付け場所

■ 周囲との間をあける

排気口や吸気口をふさがない。

■ 風通しをよくする

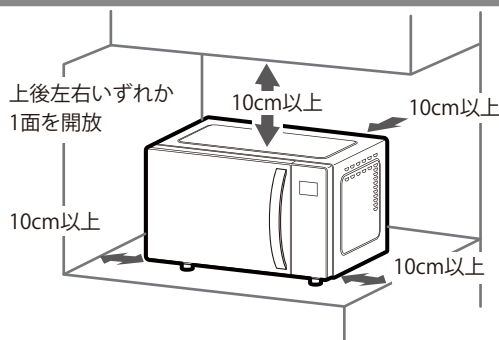
周囲は必ず隙間をあける。(右記参照)

風通しが悪いと吸気が十分に行われず、正常に作動しなくなる場合があります。

■ テレビ・ラジオ・無線LAN機器から離す

テレビ・ラジオにノイズが入る場合があります。

無線LANの通信機能が低下する場合があります。



注意

● 水平で安定した場所を使用する

不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。

● 設置の際、上記図の距離を確保する

周囲とのすき間がない場所で使用すると、壁などが過熱して発火したり、放熱などによる壁の汚れ・変色、故障の恐れがあります。

● 水気・湿気の少ないところで使用する

感電・故障の恐れがあります。

指示

● 壁や家具から離して設置する

発火・火災の原因になります。次のようなところへ設置しないでください。

- ・ラックや棚の中
- ・熱に弱い家具や置台

禁止

● 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しない

感電・やけど・けがの恐れがあります。

● 肩よりも高い位置に設置しない

食材を取り出すときに不安定になり、けが・やけどの原因になります。

アースの取り付け

■ アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください

■ アース端子付きのコンセントを使用する場合

アース線が本体のアース端子にしっかり接続していることを確認し、アース線先端の皮をむき、コンセントのアース端子につなぐ。

■ アース端子がない場合

お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

アース工事(電気工事資格者によるD種設置工事)が必要な据え付け場所

湿気の多い場所(土間、コンクリート床、地下室、醸造、貯蔵室など)、水気のある場所

水気が多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する

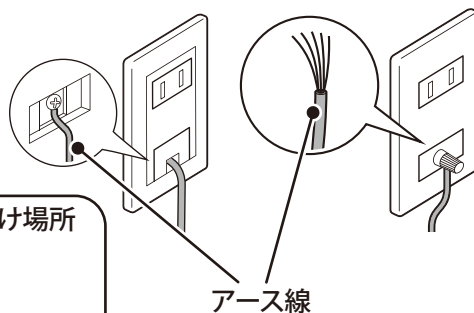
水気が多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

アース線を接続できないもの

水道管やガス管、電話機や避雷針などには絶対に接続しないでください。法令で禁止されています。

カバー付きねじタイプ

つまみタイプ



アース線

警告

● アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取り付け・取り外しのときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

使い方について

ご使用前の準備

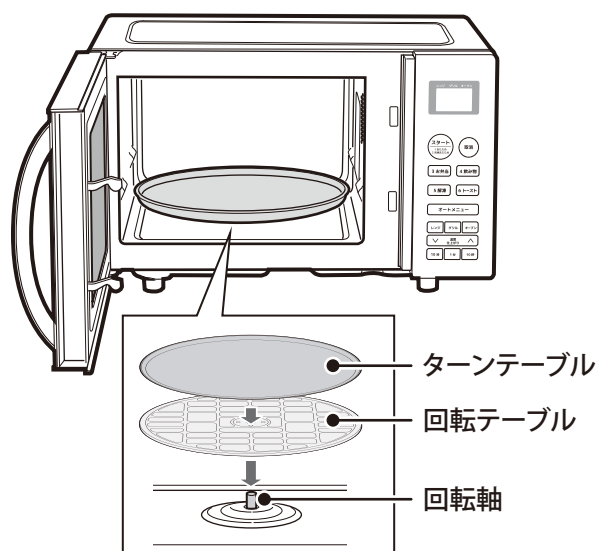
1 10ページの「据え付けについて」にしたがって設置する

正しく設置してください。アースも忘れずに接続してください。

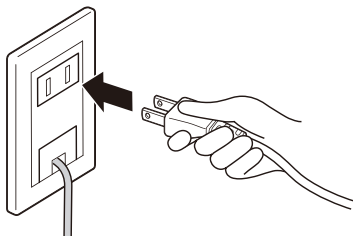
2 ドアを開けて、傷防止用のビニールシートを外す

ドア固定用のテープを外します。
ドアを開けて、傷防止用のビニールシート、梱包材を外します。

3 回転テーブルを回転軸に取り付け、ターンテーブルをのせる



4 ドアを閉めて 電源プラグを差し込む



※ 初めてご使用になるときは、電源プラグを差し込んでから1分以内に右記の「0点調整」を行ってください。

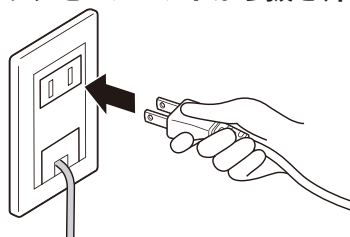
0点調整

■ 本機は、重量センサー（内蔵）で食品・食材の重量を計測し、自動調理を行っています。初めてご使用になるときは、0点調整を行ってください。

※ 精度を保つために、定期的に0点調整を行ってください。

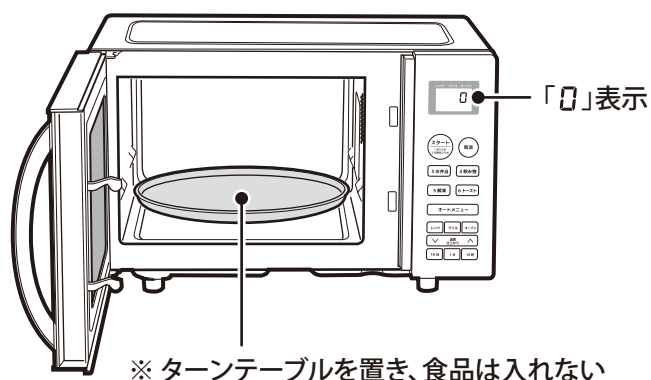
0点調整の目安: 1か月に1回程度

1 電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込む



2 ドアを開閉して、電源を入れる

庫内灯が点灯し、表示部に「0」が表示されます。
付属のターンテーブルは、必ず取り付けてください。



3 「取消」ボタンを押しながら、「グリル」ボタンを押す

表示部に「10秒」と表示され、0点調整を開始します。



4 10秒経過すると、0点調整が完了

表示部に「Cd」と表示し、正常に完了したことをお知らせします。

※ 電源プラグを差し込んでから1分以上経過した場合や、0点調整中にドアを開けた場合、0点調整ができません。その場合、「手順1」からやり直してください。
0点調整が終わったら「取消」ボタンを押し、元の状態に戻してください。



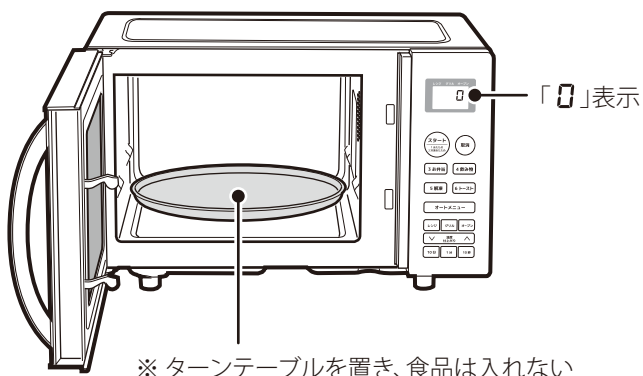
使い方について(つづき)

から焼き

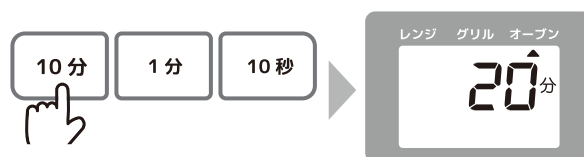
- オープンやグリルを初めてご使用になるときは、においや煙がでることがあります。ご使用前にから焼きを行ってください。
- から焼きを行うときは、必ず換気をしてください。また、小鳥・小動物は別の部屋に移してから行ってください。

1 ドアを開閉して、電源を入れる

庫内灯が点灯し、表示部に「0」が表示されます。



4 「時間設定」ボタンを押し、時間を「20分」に設定する



2 「オープン」ボタンを押す

※ から焼きを途中で停止する場合は、「取消」ボタンを押してください。

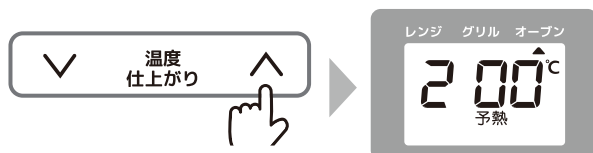


5 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯し、から焼きを開始します。
表示部に残り時間をカウントダウン表示します。



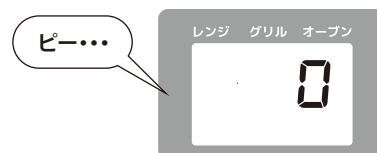
3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、温度を「200℃」に設定する



6 20分経過すると、から焼きが終了

お知らせ音が鳴り、庫内灯が消灯します。

※ から焼きを行ったあとも、においや煙がでることがありますが、ご使用にともない出なくなります。



注意

● 加熱中・加熱後は、ガラス窓、庫内、ターンテーブルなどが熱くなりますのでやけどにご注意ください。

使い方について(つづき)

基本操作

電源の入れかた

ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
ドアを開けたときは、庫内灯が点灯します。

- ※ 庫内灯は約10分後に消灯しますが、電源は切れません。
- ※ ドアを閉めたあと、無操作状態が約5分間継続すると電源が切れ、表示部が消灯します。
- ※ 設定中、無操作状態が約1分間継続すると表示部に「0」を表示し、すべての操作が取り消されます。

電源「入」時の表示



操作を取り消すとき/加熱を停止するとき

操作を取り消すときや加熱を停止するときには、「取消」ボタンを押してください。



加熱を一時停止するとき

加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。



「スタート」ボタンを押すと、
加熱を再開

取り忘れ防止機能

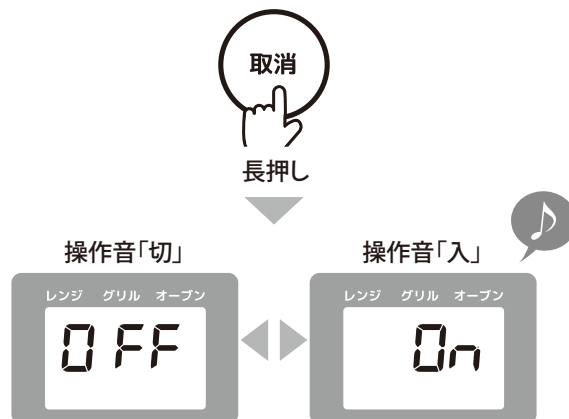
本製品は取り忘れ防止のため、調理終了後にドアを開けないと、「ピーピーピーピー」とお知らせ音が鳴ります。
お知らせ音は1分ごとに5回くり返し、5分後に電源が切れます。

操作音・お知らせ音を消すとき

表示部に「0」が表示されているときに、「取消」ボタンを3秒以上長押ししてください。

長押しするたびに、操作音「入/切」が切り替わります。

※ 停電等から復旧したあと、設定は記憶しています。



※ 3秒経過すると、表示部は「0」表示に切り替わります。

チャイルドロック

お子様のいたずらや誤操作防止のため、チャイルドロックをかけることができます。

チャイルドロックをかけると、チャイルドロック解除以外の操作ができなくなります。

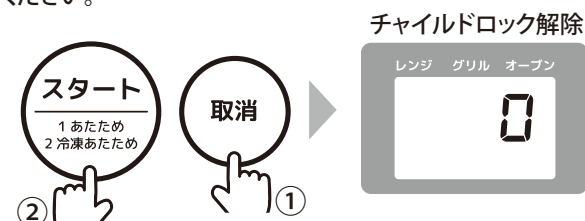
チャイルドロックのかけかた

- ①「取消」ボタンを押しながら、
 - ②「スタート」ボタンを押す。
- ※「取消」ボタンから押してください。



チャイルドロック解除のしかた

上記の「チャイルドロックをのかけかた」と同じ操作で解除してください。



使い方について(つづき)

加熱時のポイント

- 密閉されている食品は別の容器に移してから加熱してください。
- お弁当をあたためるときは、必ず液体調味料などを取り外してください。密閉したラップに包まれている場合はラップを外してあたためてください。
- 飲み物やスープなど液体をあたためるときに、沸騰してあふれないようにしてください。

禁止

- 庫内で発火、発煙したときはドアを開けない
※ドアをあけると酸素が取り込まれ、発火の恐れがあります。
直ちに動作を止めて、電源プラグを抜き、テクニカルセンターへ連絡してください。

警告

- 芋や栗など皮や殻で覆われている食品は切れ目を入れる
殻などが割れて、やけどやケガ、故障の恐れがあります。

注意

- 加熱後の容器の取り出しはふきんなどを使う
容器が熱くなっている場合、やけどの恐れがあります。
- ラップするときは、容器にぴったりと食材部分はゆったりと余裕をもっておおう
破損の恐れがあります。

自動調理 | 加熱メニュー一覽

■ 自動調理は、食品の重量を計測し、自動で加熱調理を行います。

「メニュー」ボタン、「オートメニュー」ボタンを使用して自動調理を行うときは、下記をご参照ください。

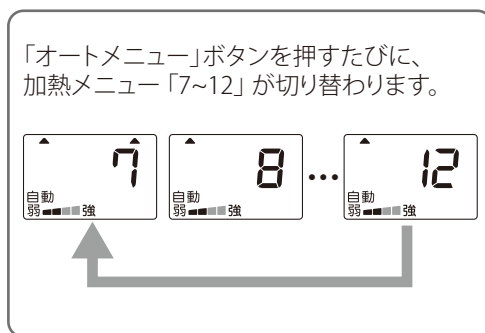
※ 調理できる分量は目安です。

加熱メニュー一覽					
表示	加熱メニュー	調理できる分量	加熱方法	備考	参照ページ
1	あたため	100g～600g	レンジ	冷蔵品や常温品など	16ページ
2	冷凍ものあたため	100g～600g		冷凍品など	16ページ
3	お弁当	400g～700g		調味料の容器やまるごとのゆで卵などは取り出す	17ページ
4	牛乳・酒	1杯～4杯		加熱前・加熱後にスプーンなどでかき混ぜる	17ページ
5	解凍	100g～400g (肉・魚)		肉や魚などの解凍	18ページ
6-1	トースト 1枚	1枚	グリル	丸皿を取り外す	19ページ
6-2	トースト 2枚	2枚		丸皿を取り外す	19ページ
7	フライ	100g～300g	レンジ+オーブン	フライや揚げ物など	20ページ
8	コーヒー	1杯～4杯	レンジ		17ページ
9	半解凍	300g～500g (さしみ)		さしみなどの半解凍	18ページ
10	お惣菜	300g～500g		お惣菜やおかずなど	17ページ
11	葉・果菜類	100g～400g		ゆで野菜を作るとき	21ページ
12	根菜類	100g～1000g		ゆで野菜を作るとき	21ページ

加熱メニュー「7～12」の選択のしかた

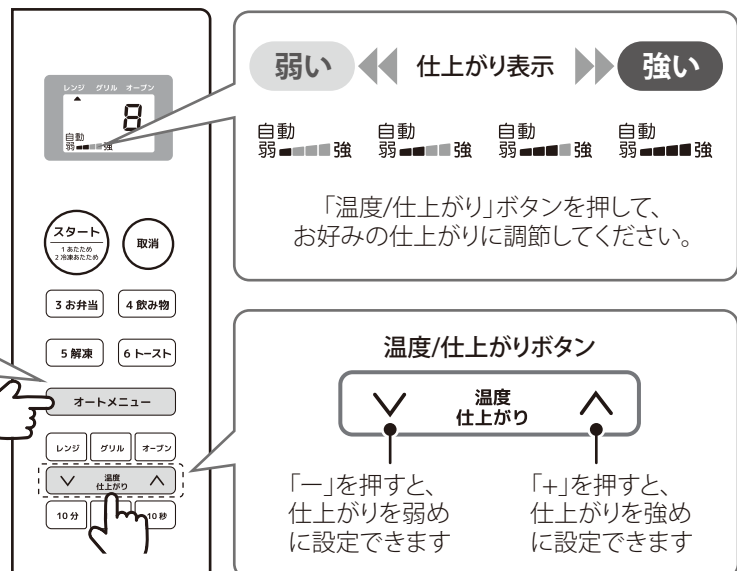
- ・加熱メニュー **7** ～ **12** を選択するときは、「オートメニュー」ボタンを押して選択してください。
- ・「オートメニュー」ボタンを押すたびに、加熱メニューが「7」⇒「8」…「12」⇒「7」と順に切り替わり、表示します。

※加熱メニューを選択後、「スタート」ボタンを押すと加熱を開始します。



自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するときは

- ・自動調理で加熱中に「温度/仕上がり」ボタンを押すと、仕上がりの強弱を調節できます。
- ・仕上がりの強弱は「弱い」～「強い」まで4段階で調節できます。



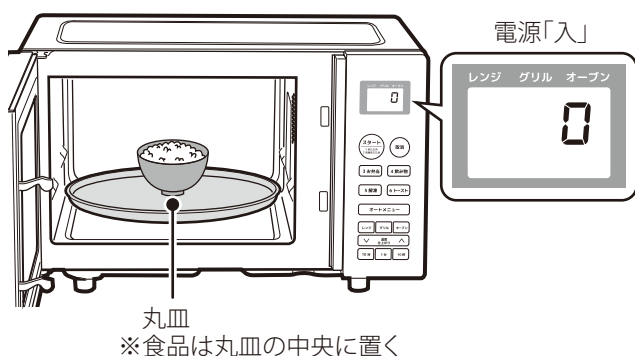
自動調理 | 1 あたため・2 冷凍もののあたため

レンジで加熱します

金属製の皿・容器などは使用できません。
→「使える容器・使えない容器 (6～7ページ) 参照」

1 食品を庫内に入れ、ドアを閉める

- ・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



ワンポイント

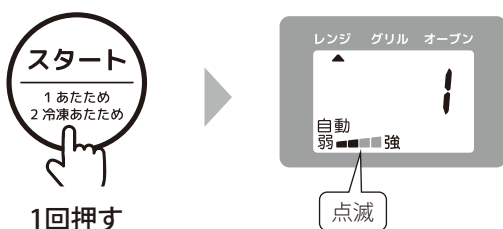
- ・ごはんはラップをせずに、固めのときは水をふりかけます。
- ・市販の調理済み揚げ物のあたためは、フライメニュー（自動調理 7 フライ）であたためると、カラッと仕上がります。

2 「スタート(メニュー 1・2)」ボタンを1回、または2回押す

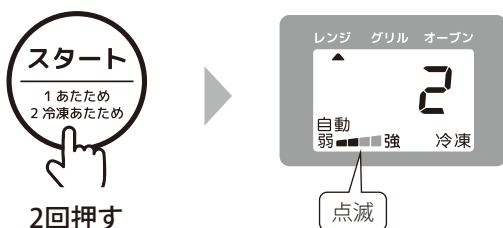
庫内灯が点灯し、加熱を開始します。

加熱メニューの選択のしかた

●冷蔵品や常温品をあたためる場合 (加熱メニュー: 1)



●冷凍品をあたためる場合 (加熱メニュー: 2)

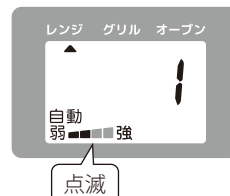


※押すたびに、「1」と「2」が切り替わります。15秒以内（仕上がり表示が点滅中）に切り替えてください。

3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、好みの仕上がりりに調節する

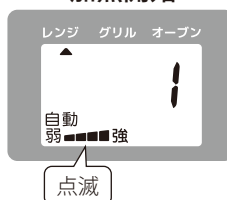
- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
 - ・詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するときは (15ページ)」をご参照ください。
- ※仕上がりの強弱は、15秒以内（仕上がり表示が点滅中）に調節してください。

温度/仕上がりボタン

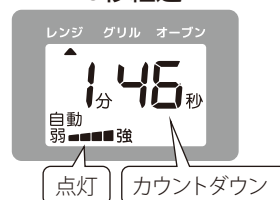


- ・加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※カウントダウン表示に切り替わると、加熱メニュー、仕上がりの強弱は変更できません。

加熱開始



15秒経過



加熱を停止するときは

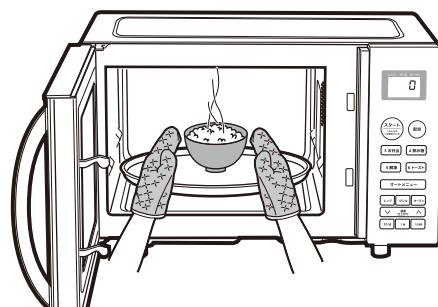
- ・加熱を途中で停止するときは、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジで加熱します

金属製の皿・容器などは使用できません。

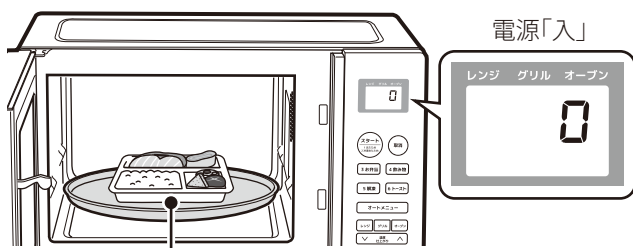
→「使える容器・使えない容器(6～7ページ) 参照」

警告

- お弁当は、調味料の容器アルミカップ・まるごとのゆで卵などを取り出してから加熱する
- 飲みものは、加熱し過ぎないように注意する
- 飲みものは、加熱前・加熱後にスプーンなどでかき混ぜる
飲みものや油脂分の多い液体(生クリームなど)は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。
加熱し過ぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。

1 食品を庫内に入れ、ドアを閉める

- ・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。

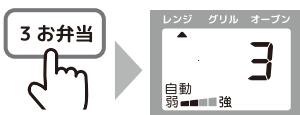


丸皿
※食品は丸皿の中央に置く

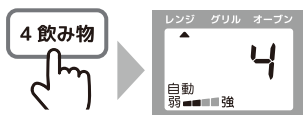
2 「メニュー」ボタン、または「オートメニュー」ボタンを押し、加熱メニューを選択する

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ※「オートメニュー」ボタンで選択した場合、「スタート」ボタンを押すと加熱を開始します。
- ・加熱メニュー「7～12」の選択のしかたは、15ページをご参照ください。

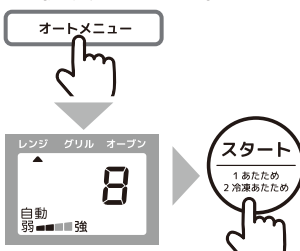
● お弁当をあたためる場合 (加熱メニュー:3)



● 牛乳・酒をあたためる場合 (加熱メニュー:4)

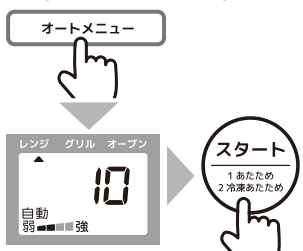


● コーヒーをあたためる場合 (加熱メニュー:8)



※「スタート」ボタンを押すまでの間に、仕上りの強弱を調節できます。

● お惣菜をあたためる場合 (加熱メニュー:10)

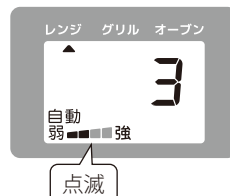


※「スタート」ボタンを押すまでの間に、仕上りの強弱を調節できます。

3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、好みの仕上りに調節する

- ・お好みで、仕上りの強弱を調節してください。
- ・詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上りの強弱を調節するときは(15ページ)」をご参照ください。
- ※仕上りの強弱は、15秒以内(仕上がり表示が点滅中)に調節してください。

温度/仕上がりボタン



- ・加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※カウントダウン表示に切り替わると、加熱メニュー、仕上りの強弱は変更できません。

加熱開始



15秒経過



加熱を停止するときは

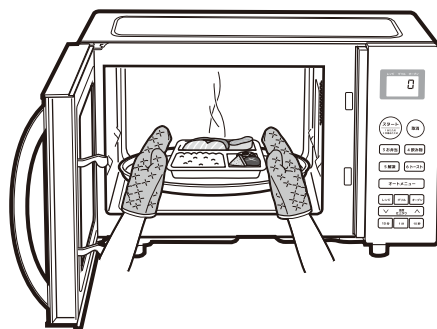
- ・加熱を途中で停止するときは、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジで加熱します

金属製の皿・容器などは使用できません。
→「使える容器・使えない容器(6～7ページ) 参照」



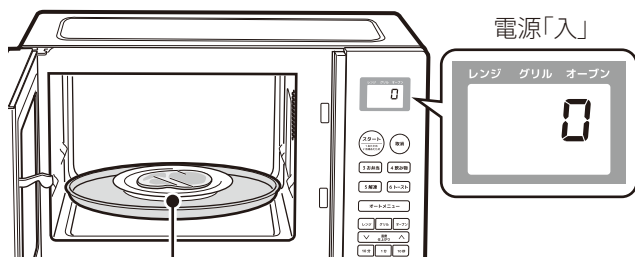
警告

- アルミホイルを使用するときは、庫内壁面に近づけないでください。また、鋭利な部分を作らないでください。火花が出ることがあります。
- 発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがありますので、加熱のし過ぎにご注意ください。

- 食材のラップは外し、発泡スチロールのトレーにのせたまま庫内に入れ、ドアを閉めてください。発泡スチロールのトレーがないときは、耐熱性の容器に入れてください。
- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 解凍しかかっている食材は仕上がりにむらが出て、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
- 少量の食材(100g未満)は、煮えや変色の恐れがありますので解凍はできません。
- 食材の細かい部分や薄い部分にはアルミホイルを巻くと、煮えや変色をおさえることができます。

1 食品を庫内に入れ、ドアを閉める

- ・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



丸皿

※食品は丸皿の中央に置く

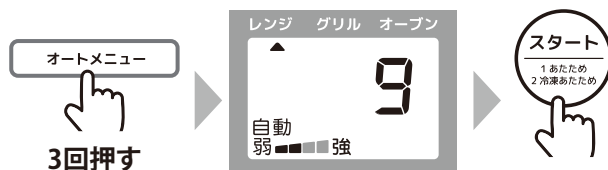
2 「メニュー」ボタン、または「オートメニュー」ボタンを押し、加熱メニューを選択する

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ※「オートメニュー」ボタンで選択した場合、「スタート」ボタンを押すと加熱を開始します。
- ・加熱メニュー「7～12」の選択のしかたは、15ページをご参照ください。

● 解凍する場合(加熱メニュー:5)



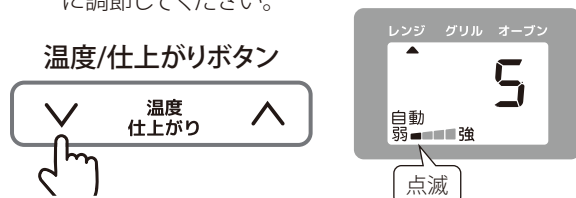
● 半解凍する場合(加熱メニュー:9)



※「スタート」ボタンを押すまでの間に、仕上がりの強弱を調節できます。

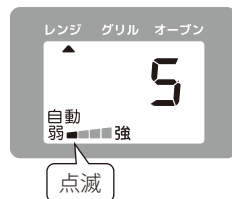
3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がりに調節する

- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
- ・詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するとき(16ページ)」をご参照ください。
- ※仕上がりの強弱は、15秒以内(仕上がり表示が点滅中)に調節してください。

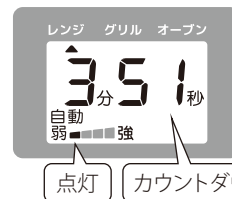


- ・加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※カウントダウン表示に切り替わると、加熱メニュー、仕上がりの強弱は変更できません。

加熱開始



15秒経過



加熱を停止するとき

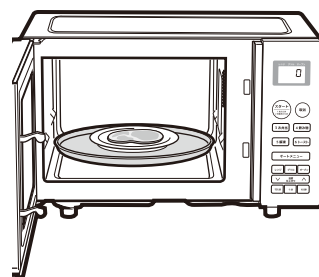
- ・加熱を途中で停止するとき、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するとき

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するとき、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



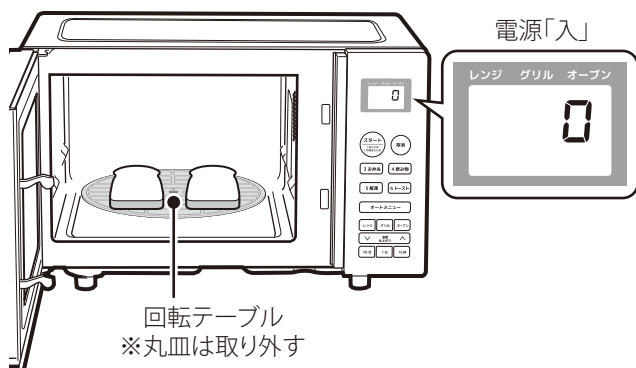
自動調理 | 6 トースト

グリル(ヒーター)で加熱します

付属の丸皿を取り外し、食パンを回転テーブルの上にのせてください。

1 食パンを回転テーブルにのせ、ドアを閉める

・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。

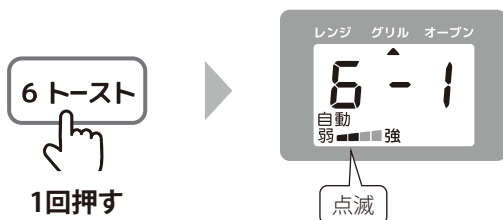


2 「メニュー」ボタンを1回、または2回押す

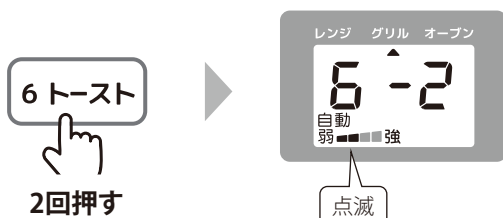
・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。

加熱メニューの選択のしかた

●食パン1枚を加熱する場合(加熱メニュー: 6-1)



●食パン2枚を加熱する場合(加熱メニュー: 6-2)



※押すたびに、「6 - 1」と「6 - 2」が切り替わります。
15秒以内(仕上がり表示が点滅中)に切り替えてください。

3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、好みの仕上がり調節する

- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
- ・詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するときは(15ページ)」をご参照ください。
- ※仕上がりの強弱は、15秒以内(仕上がり表示が点滅中)に調節してください。

温度/仕上がりボタン



- ・加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※カウントダウン表示に切り替わると、加熱メニュー、仕上がりの強弱は変更できません。

加熱開始



15秒経過



加熱を停止するときは

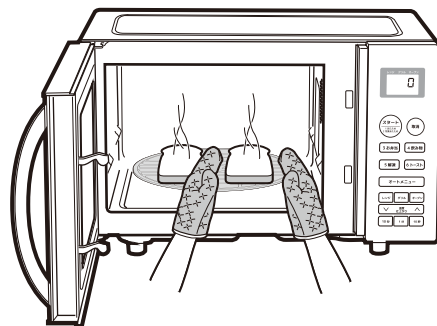
- ・加熱を途中で停止するときは、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 食パンを取り出す時は、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

ご利用前に

使い方について

お手入れについて

その他

レンジとオーブン(ヒーター)で加熱します

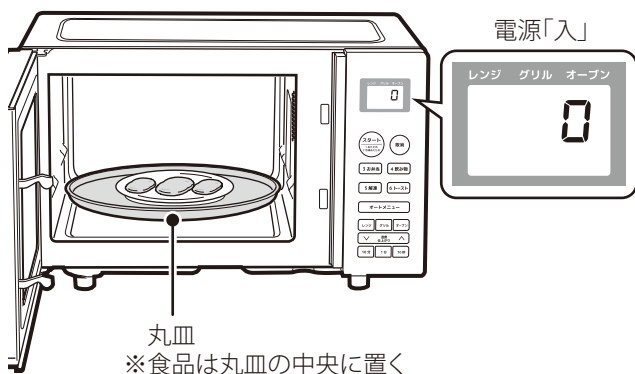
- ・金属製の皿・容器などは使用できません。
- ・耐熱性のない食器・ラップなどは使用できません。
- 「使える容器・使えない容器(6~7ページ) 参照」

ワンポイント

フライメニューは、「レンジ加熱」と「ヒーター加熱」であたためます。「加熱のしくみ(5ページ)」をご参照ください。

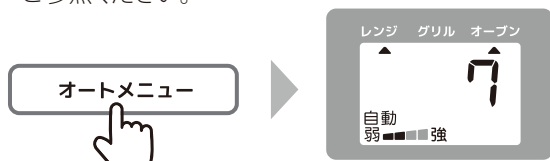
1 食品を庫内に入れ、ドアを閉める

- ・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



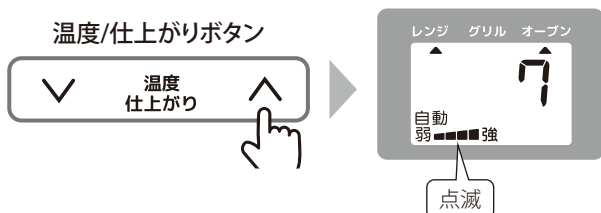
2 「オートメニュー」ボタンを押し、加熱メニュー「7(フライ)」を選択する

- ・加熱メニュー「7~12」の選択のしかたは、15ページをご参照ください。



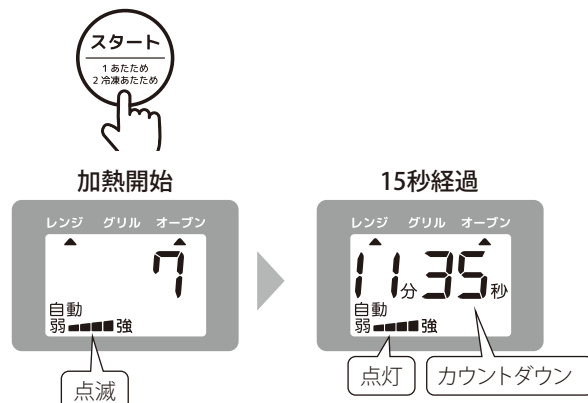
3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、好みの仕上がりに調節する

- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するときは(15ページ)」をご参照ください。



4 「スタート」ボタンを押す

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ※仕上がりの強弱を再調節するときは、15秒以内(仕上がり表示が点滅中)に調節してください。
- ・加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※カウントダウン表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

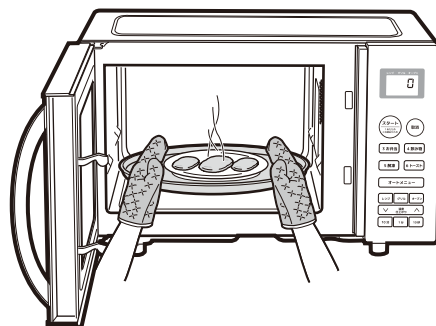
- ・加熱を途中で停止するときは、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

自動調理 | 11 葉・果菜類・12 根菜類

レンジで加熱します

金属製の皿・容器などは使用できません。

→☒「使える容器・使えない容器 (6～7ページ) 参照」

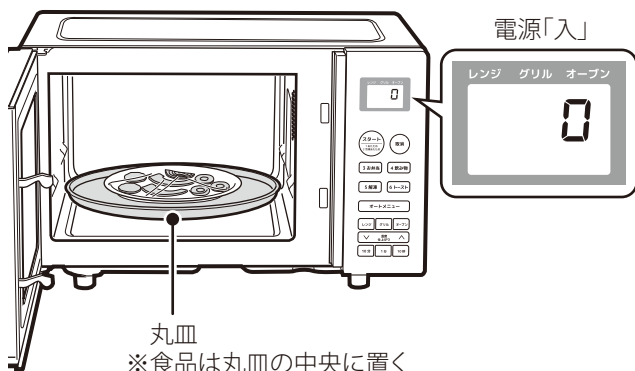
警告

- 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると、火花がでることがあります。100gより少ないときは、手動加熱で調理してください。
→☒「手動調理 | レンジ加熱の目安 (23～24ページ)」をご参照ください。

- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 食材は、耐熱皿にできるだけ重ならないように並べ、ラップでおおいます。
※油分を含む食材を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超える恐れがありますのでご注意ください。

1 食品を庫内に入れ、ドアを閉める

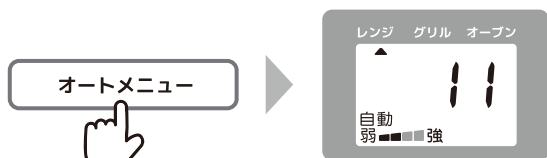
- ・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



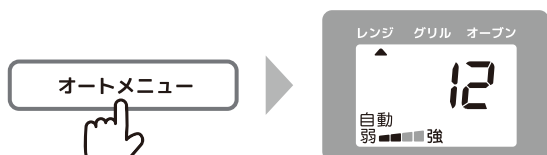
2 「オートメニュー」ボタンを押し、加熱メニューを選択する

- ・加熱メニュー「7～12」の選択のしかたは、15ページをご参照ください。

- 葉・果菜類をあたためる場合 (加熱メニュー:11)



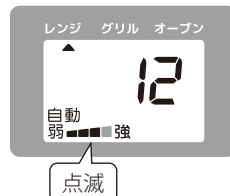
- 根類をあたためる場合 (加熱メニュー:12)



3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がりに調節する

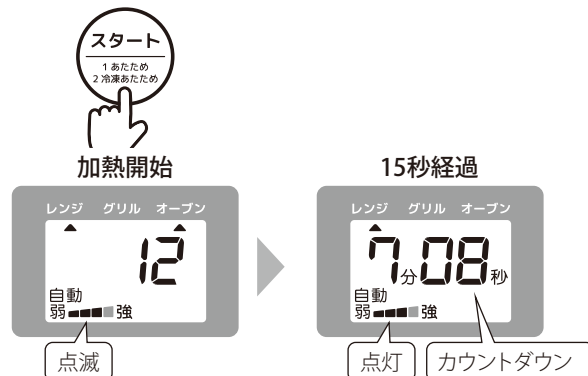
- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
- ・詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するときは (15ページ)」をご参照ください。
- ※仕上がりの強弱は、15秒以内 (仕上がり表示が点滅中) に調節してください。

温度/仕上がりボタン



4 「スタート」ボタンを押す

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ※仕上がりの強弱を再調節するときは、15秒以内 (仕上がり表示が点滅中) に調節してください。
- ・加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- カウントダウン表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

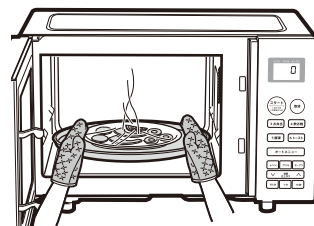
- ・加熱を途中で停止するときは、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

ご利用前に

使い方について

お手入れについて

その他

手動調理 | レンジ(手動で出力と時間を設定して加熱します)

レンジで加熱します

金属製の皿・容器などは使用できません。

→☑「使える容器・使えない容器(6~7ページ) 参照」

- 量が多いときは、適量に分けて加熱してください。
- ごはんやカレーなどは、平たく均一に一人前ずつ冷凍しておく、上手にあたためることができます。
- ラップの使いかたは、7ページ、23~24ページをご参照ください。

1 食品を庫内に入れ、ドアを閉める

- ・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。

2 手動メニューの「レンジ」ボタンを押し、レンジの出力を選択する

- ・表示部に出力が表示されます。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。

「レンジ」ボタン



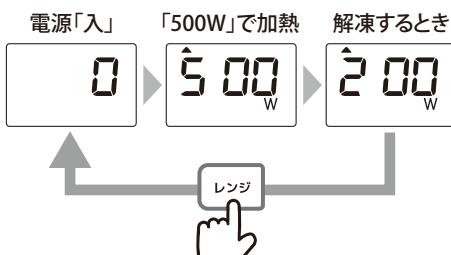
※本製品は、電源周波数「50Hz」地域と「60Hz」地域によって出力(最大出力)の表示が異なります。

下記の「レンジ」ボタンについてをご参照ください。
電源周波数と地域について詳しくは、「電源周波数と地域について(→31ページ)」をご参照ください。

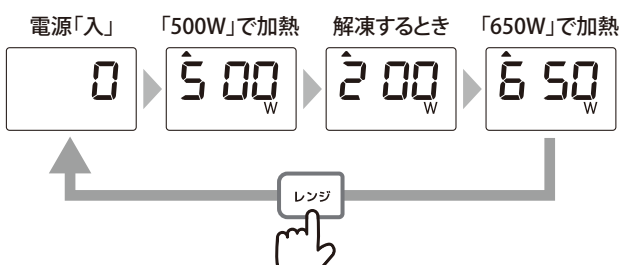
「レンジ」ボタンについて

- ・「レンジ」ボタンを押すたびに、表示部の表示が下記のように切り替わります。

■「50Hz」の地域でご使用の場合(最大出力:500W)



■「60Hz」の地域でご使用の場合(最大出力:650W)



3 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する

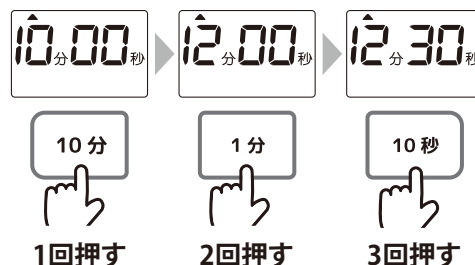
「時間設定」ボタン



「時間設定」ボタン

- ・加熱時間は「650W」、「500W」は「15分」まで、「200W」は「90分」まで設定できます。
- ・0分~20分までは10秒刻みで、20分から90分までは1分刻みで設定できます。
- ・「時間設定」ボタンを押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。

■時間設定のしかた(例: 12分30秒に設定する場合)



4 「スタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
- ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- ・加熱中に「レンジ」ボタンを押すと、設定出力が3秒間表示されます。

加熱を停止するとき

- ・加熱を途中で停止するとき、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するとき

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

手動調理 | レンジ加熱の目安

※出力650Wで加熱する場合の目安です。500Wで加熱する場合は、加熱時間をもう少し長めに設定してください。

あたため				
食品名	分量	ラップ	加熱時間	ワンポイント
ハンバーグ	1個(80g)	×	約1分	
ハンバーグ(冷凍)	1個(80g)	○	約1分30秒	加熱後、2〜3分ラップをしたまま蒸らす。
焼きとり	6本(150g)	×	約1分	照りを出すため、先にタレを塗る
天ぷら・フライ	1人前(150g)	×	約1分	キッチンペーパーなどの上に重ならないように並べる
フライ(冷凍)	4個(100g)	×	約1分30秒	皿に並べる
焼きそば・スパゲッティ	1人前(200g)	×	約1分30秒	加熱後かき混ぜる。パサつきがある場合はサラダ油かバターを少し混ぜる。
ピラフ(冷凍)	1人前(250g)	○	約4分30秒	あらかじめ、ほぐしておく。
ごはん(冷凍)	1杯(150g)	○	約2分30秒	
焼きおにぎり(冷凍)	1個(80g)	○	約1分	
おにぎり	1個(80g)	×	約30秒	
まんじゅう	1個(65g)	×	約20秒	あんが熱くなるため、控えめに加熱する。
肉まん・あんまん	1個(110g)	○	約40秒	底の紙がある場合は取り除き、さっと水にくぐらせたあと、1個ずつゆったりとラップに包む。
しゅうまい(冷凍)	1袋(230g)	○	約3分	上下両面に水をふりかけて加熱する。
みそ汁	1杯(150g)	○	約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
煮物	1人前(200g)	○	約1分30秒	
カレー・シチュー	1人前(200g)	○	約1分30秒	加熱後にかき混ぜる。
丼物	1人前(350g)	○	約2分	
牛乳(冷蔵)	1杯(200mL)	×	約1分30秒	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
お酒(常温)	1杯(180mL)	×	約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
茶わんむしのあたため	1個	×	約30秒〜60秒	様子を見ながら加熱する。
ロールパンのあたため	2個(80g)	×	約20秒	時間がたつと固くなるため、食べる直前に加熱する。
今川焼き(冷凍)	1個(90g)	○	約1分30秒	
ミックスベジタブル(冷凍)	100g	○	約1分30秒	
里いも(冷凍)	300g	×	約10分	



注意

- 飲み物や油脂の多い食品は突然、食品や液体が沸騰することがあります。
(突沸注意) けがややけどの原因となりますので、取り出しの際は注意してください。
- 加熱前、加熱後はかき混ぜてください。
- 加熱時間は目安です。分量や状態により加熱時間は異なり、必要以上に加熱すると焦げたり、発煙・発火の恐れがあります。様子を見ながら加熱してください。
- いか、たらこ、ウィンナーなど、皮で覆われている食材は、加熱するとはじけることがあるため、皮をむく、切れ目を入れる、穴をあけるなどしてください。
- あんまん等は、先にあんが熱くなり、3分以上(冷凍品は4分以上)加熱すると発煙・発火の恐れがあります。
- にんじん、じゃがいもなど水分の少ない根菜は少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。大きめの容器に野菜が浸かるくらいの水を入れ、ラップをして加熱してください。



指示

- ベビーフードや介護食、乳児用のミルクを温める時は、加熱後、かき混ぜてから温度を確認してください。
やけどの恐れがあります。(かき混ぜて温度を均一にする)

手動調理 | レンジ加熱の目安(つづき)

※出力650Wで加熱する場合の目安です。500Wで加熱する場合は、加熱時間をもう少し長めに設定してください。

ゆで野菜				
食品名	分量	ラップ	加熱時間	ワンポイント
じゃがいも	150g	○	約3分	まるごと加熱する場合は、丸皿の中央を避けて置く。
さつまいも				
にんじん	200g	×	約6分	用途に合わせて切っておく。容器に入れ、浸るくらいの水を加える。
だいこん	200g	○	約4分	大きさをそろえておく。
キャベツ・白菜	200g	○	約2分30秒	芯の太いものは、あらかじめ取り除く。
ほうれん草	200g	○	約2分	皿に並べる
カリフラワー	200g	○	約2分30秒	小房に分けておく。 あらかじめ食塩水に浸けておく。
ブロッコリー				
グリーンアスパラガス	200g	○	約2分30秒	根本の固い皮を取り、軽く塩でもんでおく。



警告

● 繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱しすぎないなど、注意して調理してください。



警告

● 加熱時間は目安です。分量や状態により加熱時間は異なり、必要以上に加熱すると焦げたり、発煙・発火の恐れがあります。様子を見ながら加熱してください。

■ ラップをするもの

- ・煮物、蒸し物、汁物、調理済み冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合
- ・具の多いスープなど、はじける恐れのあるもの

■ ラップをしないもの

- ・ごはんもの、揚げ物、焼き物、炒め物など、水分を飛ばし気味にしたい場合
- ※ラップは容器をゆったりとおおい、食品・食材に添わせず。余裕がないと破れることがあります。
- ※油分の多い食品を加熱するときは、ラップの耐熱温度を 超えることがあるので、注意してください。

手動調理 | グリル (手動で出力と時間を設定して加熱します)

グリル(ヒーター)で加熱します

金属製の皿・容器などは使用できません。

→「使える容器・使えない容器 (6～7ページ) 参照」

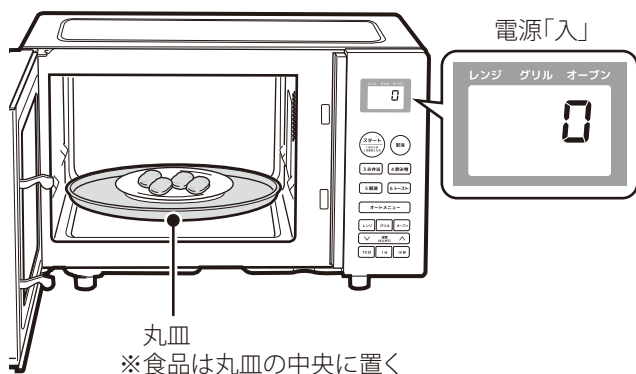
- グリル加熱では温度の設定ができません。手動で時間を設定して、仕上がりを調節してください。

ワンポイント

パンを加熱し、焼き色をつけたい場合などは、付属の丸皿を取り外し、回転テーブルの上にパンを直接のせてください。

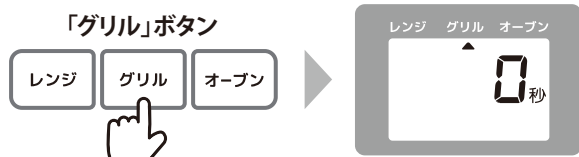
1 食品を庫内に入れ、ドアを閉める

- ・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



2 手動メニューの「グリル」ボタンを押す

- ・表示部に出力が表示されます。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。



3 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する

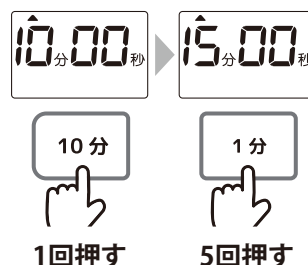
「時間設定」ボタン



「時間設定」ボタン

- ・加熱時間は「30分」まで設定できます。
- ・0分～20分までは10秒刻みで、20分から30分までは1分刻みで設定できます。
- ・「時間設定」ボタンを押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。

■時間設定のしかた (例: 15分に設定する場合)



4 「スタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
- ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- ・加熱中に「レンジ」ボタンを押すと、設定出力が3秒間表示されます。



加熱を停止するときは

- ・加熱を途中で停止するときは、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

ご利用前に

使い方について

お手入れについて

その他

手動調理 | オープン(手動で出力と時間を設定して加熱します)

オープン(ヒーター)で加熱します

金属製の皿・容器などは使用できません。

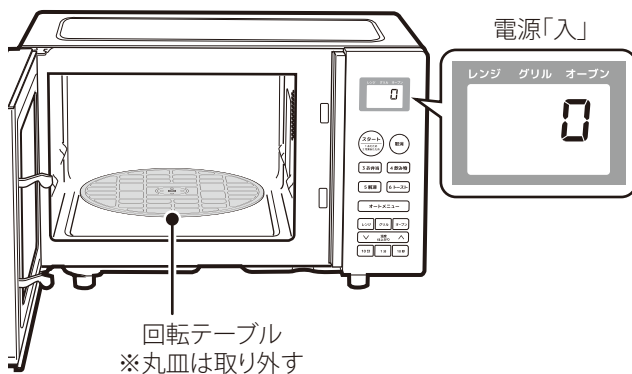
→☑「使える容器・使えない容器(6~7ページ) 参照」

予熱ありの場合

- 予熱をして庫内の温度を上げてから、調理します。

1 食品を庫内に入れ、ドアを閉める

- ・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・丸皿は、予熱が終わったあと庫内に置きます。



2 手動メニューの「オープン」ボタンを押す

- ・表示部が温度設定表示に切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。

「オープン」ボタン

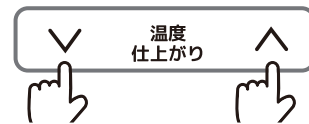


3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、予熱温度を設定する

「温度/仕上がり」ボタンについて

- ・予熱温度は、「100℃」～「200℃」の範囲で10℃刻みで設定できます。
- ※「40℃」を選択した場合は予熱はできません。「予熱」の表示が消灯し、発酵メニューで加熱します。
- 「予熱なし発酵の場合(28ページ) 参照」
- ・「温度/仕上がり」ボタンを押し続けると連続して温度が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。

温度/仕上がりボタン



温度を下げるときは、「-」を押す。

温度を上げるときは、「+」を押す。



※200℃に設定した場合

4 「スタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
- ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部の「予熱」、「▲」の表示が点滅します。



加熱を停止するときは

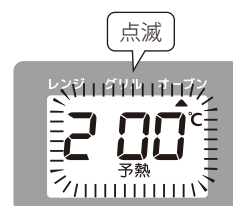
- ・加熱を途中で停止するときは、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

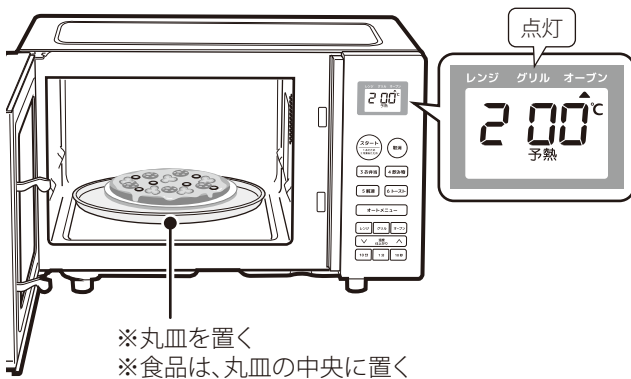
- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。
- ・表示部の表示がすべて点滅します。
- ※予熱が終了しても、ドアを開けるまでは加熱運転を継続します。



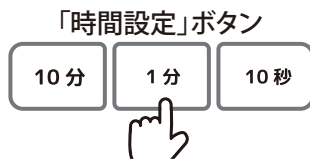
手動調理 | オープン(つづき)

6 付属の丸皿を回転テーブルに置き、食品を丸皿にのせ、ドアを閉める

- ・ドアを開けると、表示部が点滅から点灯に切り替わります。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



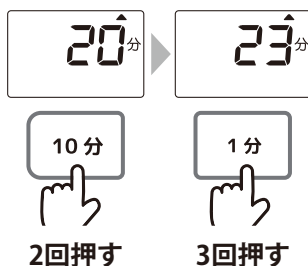
7 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する



「時間設定」ボタン

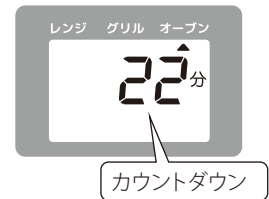
- ・加熱時間は「90分」まで設定できます。
- ・0分～20分までは10秒刻みで、20分～90分までは1分刻みで設定できます。
- ・「時間設定」ボタンを押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。

■時間設定のしかた (例: 23分に設定する場合)



8 スタートボタンを押す

- ・加熱を開始します。
- ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- ・加熱中に「オープン」ボタンを押すと、設定温度が3秒間表示されます。



加熱を停止するとき

- ・加熱を途中で停止するとき、「取消」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するとき

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するとき、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

9 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

手動調理 | オープン(つづき)

オープン(ヒーター)で加熱します

金属製の皿・容器などは使用できません。

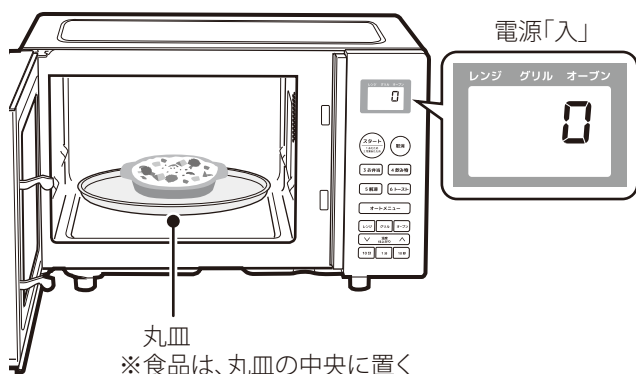
→「使える容器・使えない容器(6～7ページ) 参照」

予熱なし・発酵の場合

- 予熱をせずに加熱を開始します。調理後、庫内の温度が上がっているときや、食品を低温から調理するときに使用します。
- 発酵をするときは、温度を「40℃」に設定してください。

1 食品を庫内に入れ、ドアを閉める

- ・ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・丸皿は、予熱が終わったあと庫内に置きます。



2 手動メニューの「オープン」ボタンを押す

- ・表示部が温度設定表示に切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。



3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、加熱温度を設定する

「温度/仕上がり」ボタンについて

- ・予熱温度は、「100℃」～「200℃」の範囲で10℃刻みで設定できます。
- ・発酵を行うときは、「40℃」に設定してください。
- ・「温度/仕上がり」ボタンを押し続けると連続して温度が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。



発酵: 40℃



オープン: 100℃～200℃

4 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する



「時間設定」ボタンについて

- ・加熱時間は「90分」まで設定できます。
- ・0分～20分までは10秒刻みで、20分から90分までは1分刻みで設定できます。
- ・「時間設定」ボタンを押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「取消」ボタンを押してください。

5 「スタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
- ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- ・加熱中の「オープン」ボタンを押すと、設定温度が3秒間表示されます。



- ・加熱を途中で停止するときは、「取消」ボタンを押してください。

- ・加熱中にドアを開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、ドアを閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

6 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

お手入れについて

お手入れの方法

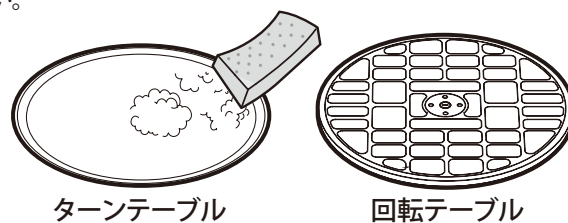
お手入れ前に、必ず電源プラグを抜く

やけどの恐れがあるため、製品が冷めてからお手入れを行ってください。

■ ターンテーブル・回転テーブル

薄めた台所用中性洗剤で洗い、水で流す

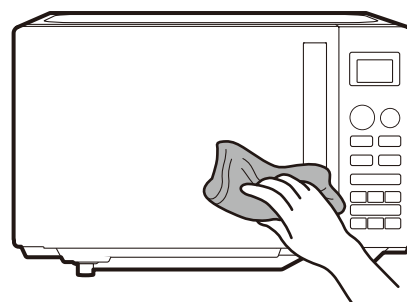
洗ったあと、よく乾かしてください。



■ 本体外側・ドア

やわらかい布でからぶきをする

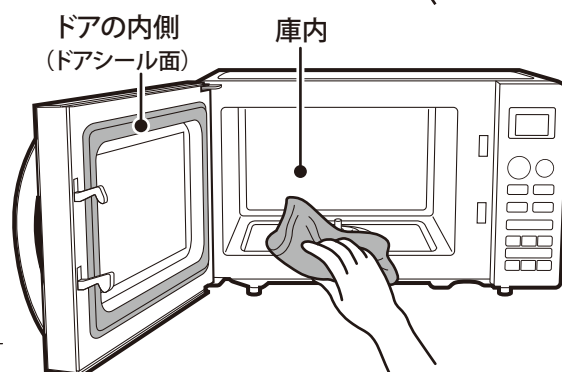
汚れがひどいときは、ぬるま湯または中性洗剤を布に含ませ拭き取ってください。中性洗剤を使用する場合は、かたく絞ったぬれふきんで拭き取ります。



■ 庫内・ドアの内側（ドアシール面を含む）

よく絞ったふきんで拭く

食品カスや汚れなど付着した状態で放置すると、焦げたり燃えたりすることがありますので、しっかりと拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使い、汚れを拭き取ってください。ターンテーブルと回転テーブルを取り外してお手入れを行ってください。



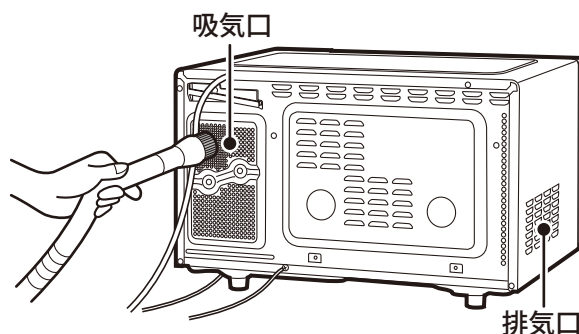
注意

- 電波出口カバーは汚れがついたままにしない
火災の原因になります。

■ 吸気口・排気口

掃除機・乾いた布でホコリを取り除く

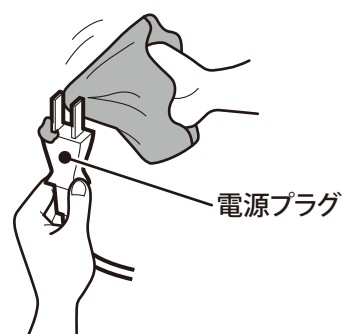
月に1度はお手入れをしてください。ホコリがたまっていると、故障の原因となったり、機能低下し十分に性能を発揮できなくなります。掃除機や乾いた布などで定期的に取り除いてください。



■ 電源プラグ

乾いた布で拭く

乾いた布で拭き取ってください。
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



お手入れについて(つづき)



- 電子レンジは、スチームクリーナを用いての清掃はできません
水気が機器内に侵入して、故障やけがの原因となります。



- 安全のため、電源プラグを抜いてからお手入れを行う
感電の恐れがあります。
- レンジ本体や庫内・付属品が冷めてからお手入れを行う
やけどの恐れがあります。



- お手入れの際に、揮発性のものは使わない
シンナー・ベンジン・金属たわし・みがき粉・漂白剤や酸性洗剤などは
傷や変形・変色の原因となりますので使用しないでください。
※化学ぞうきんの使用は、その注意書きにしたがってください。



お手入れ後の安全点検

- 電源コードが傷んでいませんか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
- 電源プラグやコンセントにホコリが付着していませんか？
- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容やマクスゼンホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず 電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

長時間で使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いて 各部のお手入れをし、湿気やほこりが かからない状態にしておいてください。

電源周波数と地域について

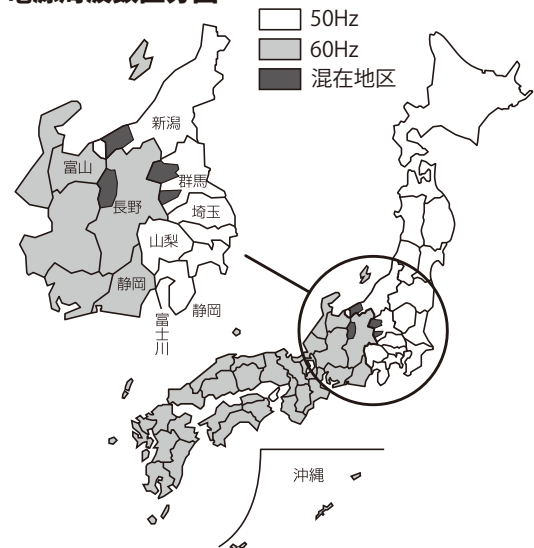
本製品は、電源周波数「50Hz」地域と「60Hz」地域のどちらの地域でも使用いただけますが、ご使用になる地域によって、手動メニューの「レンジ」ボタンを押したときの出力が異なります。

※「レンジ」ボタンについて、詳しくは「**手動調理 | レンジ** (⇒23ページ)」をご参照ください。

出力	50Hz地域	60Hz地域
HIGH	520W	650W
LOW	400W	400W
解凍	200W	200W

- 電源周波数は 東日本では50Hz、西日本では60Hzです。
- お引っ越しなどで移転する先の電源周波数が不明のときは、お近くの電力会社営業所にお問い合わせください。
- 必ず アース線を取り付けてご使用ください。

電源周波数区分図



その他(つづき)

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	原因	対処の仕方
ドアを開けても、電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	電源ブレーカーが入っていない	安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れてください。
ボタンを押しても反応しない	電源が切れている (表示が消えている)	ドアを開けて電源を入れてください。
加熱中に電源が切れる (ブレーカーが切れる)	使用できる電気の量を超えている	他の電気製品の電源スイッチを切る、別のブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
動作しない	ドアがしっかり閉まっていない	ドアをしっかり閉めてください。
動作しない エラー表示: E00	回転テーブルが取り付けられていない	「取消」ボタンを押して、回転テーブルを取り付けてから調理を行ってください。
動作しない エラー表示: E01	食品の量が多すぎる	「取消」ボタンを押して、食品の分量を減らしてから調理を行ってください。
動作しない エラー表示: E02	食品の量が少なすぎる	「取消」ボタンを押して、食品の分量を増やしてから調理を行ってください。
動作しない エラー表示: E03、E04、E05、E06、E07	本機が故障している	ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
操作音・お知らせ音が 鳴らない	お知らせ音が「切」になっている	「取消」ボタン3秒間押し続け、お知らせ音を「入」にしてください。
1分ごとに、「ピッ」と5回鳴る	調理後、食品を取り忘れている	食品の取り忘れ防止機能によるお知らせ音です。お知らせ音は、ドアを開けると止まります。
解凍すると、むらが出て一部が煮える	食材に細かい部分、薄い部分がある	食材の薄い部分や細かい部分にアルミホイルを巻くと、煮えや変色を防ぐことができます。
	半解凍されてる食材を使用した	食材の凍った部分と解凍された部分では熱の通りかたが違います。食材は、解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
食品があたたまらない	食品がアルミホイルなどでおおわれている	食品をアルミホイルなどでおおくと、加熱されません。
	庫内や容器に水滴がついている	水滴に熱が吸収されると食材が充分にあたたまりません。水滴がついている場合は、拭き取ってから使用してください。
	冷凍品を「あたため」メニューであたためている	冷凍品は熱が通りにくいため、「解凍」メニュー、「半解凍」メニューを使用してください。
火花が出る	アルミホイルが庫内壁面に近い	アルミホイルを庫内壁面から離してください。
	アルミホイルなどに鋭利な部分がある	アルミホイルは鋭利な部分を作らないでください。
	金属模様のある容器を使用している	金属模様のある容器は使用しないでください。
	庫内に食品かすなどが付着している	庫内のお手入れを行ってください。
加熱中に、「ブーン」という音が大きくなったり、小さくなったりする	本機が加熱をコントロールしている	故障ではありません。そのままご使用ください。
加熱中に、「カチッ」という音がする		
加熱中に、「ポコン」という音がする	調理の熱で庫内壁面が膨張している	故障ではありません。そのままご使用ください。
加熱が終了してもファンの音がする	加熱が終了後に本体内部を冷却するためにファンが回転している	本体内部が冷却されるまでお待ちください。 ※ファンの回転中は、電源プラグを抜かないでください。

その他(つづき)

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	原因	対処の仕方
煙が出る においがする	初めて使用する前に、から焼きをしていない	初めてご使用になる前に、から焼きを行ってください。
レンジ加熱中、ドアに水滴がつく	食品から出た水蒸気により、ドアが結露している	故障ではありません。結露した場合は、ふきんなどで拭き取ってください。
ターンテーブルが回転しない	ターンテーブル・回転テーブルが正しく取り付けられていない	ターンテーブル・回転テーブルを正しく取り付けてください。
	食器や容器が庫内壁面に引っかかっている	食器や容器は、庫内壁面に触れないように置いてください。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでお問い合わせください。



警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

火災・感電・けがの原因になります。

仕様

型番	JMO16MD01	
電圧	AC 100V	
電源周波数	50Hz	60Hz
レンジ	定格消費電力	920W
	定格高周波出力	500W※1、200W
	発振周波数	2450MHz
	タイマー	10秒～15分(650W、500W)、10秒～90分(200W)
グリル	定格消費電力	1250W
	ヒーター出力	上ヒーター:750W、下ヒーター:450W
	タイマー	10秒～30分
オーブン	定格消費電力	1250W
	ヒーター出力	上ヒーター:750W、下ヒーター:450W
	温度調整	40℃(発酵)、100～200℃
	タイマー	10秒～90分
外形寸法	幅461 x 奥行363 x 高さ293 mm	
加熱室の有効寸法	幅280 x 奥行296 x 高さ194 mm	
ターンテーブル径	260 mm	
庫内総容量※2	16L	
製品質量	約 13.3kg	
区分名※3	B	
電子レンジ機能の年間消費電力量※4	62.3kWh/年	
オーブン機能の年間消費電力量※4	10.5kWh/年	
年間消費電力量※4	72.8kWh/年	
電源コードの長さ	約 1.5m	

※1 高周波出力650W 500Wは短時間高出力機能(15分)であり、調理中自動的に350Wに切り替わります。

※2 庫内総容量とは、JISの判定基準にもとづき算出された容量です。

※3 区分名は、家庭用品品質表示法および省エネ法にもとづき、機能加熱方式庫内容量の違いで分かれています。

※4 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境使用回数使用時間食材の量によって左右されます。電源プラグをコンセントに接続した状態で、表示部が消灯しているとき(待機時)の消費電力は0Wです。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

ご利用前に

使い方について

お手入れについて

その他

アフターサービス

基本的な取扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。

www.maxzen.jp

故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター

TEL.0570-099-455

mail: mtc@maxzen.jp

受付時間：平日9:00～17:00 月曜～金曜日（祝日・夏季・年末年始等を除く）

- お客様からご提供いただいた個人情報は修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用します。
- 利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供することがあります。

修理について

当社では原則的に出張修理を行っておりません。
センドバック修理となっておりますので 予めご了承ください。

部品について

修理のために 取り外した部品は、特段のお申し出がない限り、当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

- 保証期間はご購入日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
（保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください）
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用できると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金について

修理料金は、技術料・部品代・製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行っておりません。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品は 製造打ち切り後、8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。



愛情点検

長年ご使用のオープンレンジの点検をぜひ!

ご使用の際
このような症状は
ありませんか?

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 運転中に異常な音や振動がする
- 製品本体に触れるとビリビリ電気を感ずる
- その他異常や故障がある

ご使用
中 止

故障や事故防止のため
タイマーつまみをOFFに合わせ、
電源プラグを抜いて、必ず
販売店にご相談ください。

オーブンレンジ 保証書

製品名	オーブンレンジ	ご購入履歴を印刷していただき本書と一緒に保管してください 保証書のお買い上げ日については商品出荷日となります 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください
製品型番	JMO16MD01	
保証期間	お買い上げ日より 1 年間	
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
お名前		販売店
ご住所		
電話番号		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
 上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効となりません。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品等で無料依頼ができない場合には、マクスゼンテクニカルセンターまでご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷していただき一緒にご提示ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有料修理になります。

- ・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・お買い上げ後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
- ・一般家庭用以外での業務用に使われた場合（本製品は一般家庭用であり業務用ではありません）
- ・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
- ・本書の提示がない場合。
- ・本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
- ・不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
- ・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
- ・オークションで落札された商品の場合。
- ・離島又は離島に準ずる遠隔地への引取修理を行う場合の送料。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This Warranty is valid only in japan.）
5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控え）は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

本書に記載の内容とは異なる方法や目的で使用されますと、保証の対象外となります。
 また、生じた損害についても弊社は一切責任を負いません。

MAXZEN

○本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、
無効となりますので必ずご確認ください。

○本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。

○本書の内容の一部または全部の無断天災を禁じます。

○本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

●乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター
TEL.0570-099-455

受付時間：平日 9:00～17:00 月曜～金曜日（祝日・夏季・年末年始等を除く）

mail : mtc@maxzen.jp

Copyright ©MAXZEN. Inc ALL Rights Reserved.